

第 1 回伊勢志摩地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会記録			
協議日時	平成 22 年 3 月 31 日 (水) 午前 10 時～午前 11 時 30 分	会議場所	鳥羽商工会議所 3 F かもめホール
出席者	別紙名簿のとおり		
<p>午前 10 時開会</p> <p>(発起人あいさつ)</p> <p>木田鳥羽市長</p> <p>みなさんおはようございます。桜の花が咲き始め、外はいい気候になりつつありますが、そのような中で、伊勢志摩地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会を開きたいということで、大変急な呼びかけにも関わらず、お忙しいみなさんがこのようにご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、日頃は伊勢志摩地域の発展にご尽力いただいておりますことをあわせてお礼申し上げます。</p> <p>私が申し上げるまでもなく、伊勢湾フェリーは、昭和 39 年、東京オリンピックや新幹線の開通などで日本中が湧き上がっていた年に、「伊勢湾自動車航送船株式会社」として現在の伊勢湾フェリー(株)により、鳥羽伊良湖航路を開始しました。</p> <p>この航路は、ピーク時の平成 6 年には、年間旅客数 116 万人を誇っておりましたが、平成 21 年度は、35 万人に激減したという現在の状況でございます。</p> <p>原因はいろいろあるかと思いますが、伊勢湾岸自動車道やその他の高速道路も建設され、非常にこの地域へ到達する時間が短くなってきた、言い換えれば伊勢湾が小さくなったといってもいいと思います。そしてまた、燃油の高騰、景気の悪化、新型インフルエンザ騒動など、さまざまな要因により旅客数が減ってきたと思っております。</p> <p>そのような中、最後の追い打ちをかけるように、国の施策による高速道路料金の土日祝日 1,000 円への値下げがあり、そういう中で伊勢湾フェリーさんもがんばってきていただいたが、今回津と伊勢の間が試験的とはいえ無料化されるということになり、将来の運営は難しいと判断されたということだと思います。そして、本年 9 月末日をもって鳥羽伊良湖航路を廃止すると発表されました。</p> <p>この問題については、当然鳥羽市が中心になって解決を図るべきだと認識していますが、私たちの力だけでは非常に難しい問題であることから、私たち行政と、鳥羽市の各民間の方々、伊勢市、志摩市、南伊勢町の皆様のご協力を得てなんとかいい方向にもっていきたいということで、協議会を設立したいという考えに至ったわけでございます。</p> <p>このフェリーにつきましては、長年にわたりこの地域の発展、また観光の振興に非常に貢献をしていただいたと思っております。また、国道 42 号という海の道として大変重要な道だと思っております。これがなくなればその影響は計り知れないということもあり、国の施策が追い討ちをかけたということも含め、当然国が本腰を入れて力を入れていただきたいと思っております。</p> <p>今日は県議会の皆さんも来ていただいておりますが、県においても後押しをよろしく願います。野呂知事におかれましても「これは鳥羽市だけの問題ではなく、地域一丸となってがんばるように、三重県も愛知県と連携をとりながら国への働きかけについて一生懸命やる」と言っております。</p> <p>今日はこの協議会を設立していただき、みなさんの協力を得てなんとかこの航路の存続に向けていい方向が出るように努力していきたいと思っておりますので、みなさんのご協力をお願いいたしまして、発起人としてのご挨拶、またお願いとさせていた</p>			

だきます。

今日は本当にお忙しいところありがとうございました。

【以下は協議内容要旨】

(着席順に自己紹介 省略)

事務局長

(資料確認 省略)

事務局

(これまでの経緯説明 省略 別紙2のとおり)

(質疑なし)

事務局

(伊勢志摩地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会の設置について規約(案)説明 省略 別紙3のとおり)

事務局長

ただいまの説明について何かないか。

中嶋県議会議員

活動の第3条に「県への支援要請」ということもあるが、こういう広域のことなので、せめて県の県民センター長等がこの場にメンバーとして入っているのかと思ったが、声かけはされたのか。または「県への支援要請に関する事項」ということがあるので、あえて声をかけなかったのか。

田原市さんは同様の協議会を設置する動きがあるのか。するのであればその連携を協議会としてどうしていくのか。

鳥羽市で事務局を持つということであるが、この話は、9月30日までということで廃止届を出しているので、タイトなスケジュールでスピーディーにことを進めないといけない。この会議のメンバーを見ると中々開催も大変なので、ワーキングというか、機動的に動ける組織を規約で位置付けた方がいいのではと思うがどうか。

事務局

県への連絡については、政策部の交通政策室と連携しており、本日の内容、参加者についても報告させていただいている。今日のこの席への出席は難しいということであり、今後2回目以降については参加し、連携していきたいというような回答を頂いている。

田原市さんとの連携について、現在田原市内での民間も含めた協議会は既に立ち上がっているが、隣の豊橋市、蒲郡市を含めた広域協議会設置に向け、先週の金曜日から動いている。同時に進行しているが、少し立ち上げが遅くなると報告を受けている。立ち上がった段階で活動を共にしていきたいと考えている。

ワーキング等の対応については、柔軟な対応ができるように第10条で別に定めるとしているもので、今いただいたご意見を参考にさせていただき、検討していきたい。

中嶋県議会議員

了解した。県の対応については、交通政策の分野もあるが、観光分野も取り組むように私からも話したい。ワーキングについては、10条で検討いただければありがたい。

仲野鳥羽市観光協会会長

副会長の数であるが、この案件は広域で取り組んでいかなければならない案件なので、1名でいいのか。協議したのか。

木田鳥羽市長

協議はした。1名でも3名でもいいが、皆さんがいいという方向で決めたい。1名にした理由は、例えば行政では鳥羽市以外に3つの行政があり、観光協会、商工会議所などの代表の数も多く、「ここをいれてここをいれない」というような状況も問題なので、1名にした方がすっきりするということでこういう案にさせていただきました。あくまでも案であるので、みなさんの提案で変更は可能である。

仲野鳥羽市観光協会会長

伊勢湾フェリーさんが廃止ということで、いろいろな清算手続きをされると思うが、船舶・港湾施設の売却などをやっていく中で、協議会は存続を求めて活動していくわけである。いたずらに期待を持たせてもいけない。いつまでに結論を出すのか期限のようなものはないのか。

木田鳥羽市長

これについては、伊勢湾フェリーさんの問題でもあり、どこまで発言していいのかという部分もあるが、私がきいたところでは、会社としては廃止することは決定していると言われている。そのまま存続するという事になれば、他の業者やお客さんなどの絡みから、5月の末には示していく必要があるということである。ただ伊勢湾フェリーさんが閉めてもその後、別個の形でやるということであれば、10月からでもいいだろうし、1カ月経ってからでもいいと思うが、それは経緯によって柔軟にいけるのではないかと思う。

吉田鳥羽商工会議所会頭

伊勢湾フェリーは業績が悪いので会社の清算に入ると思うが、将来の車の量などについてのシミュレーションというか、どれくらいの車の量なら採算がとれるのか、あるいは運営の方法は素人なのでわからないが、今3隻あるが、1隻でも可能なのか、2隻いるのか、そういう資料を伊勢湾フェリーさんに出していただかないと議論がしにくいと思う。儲かるのならやる会社はいると思うが、儲からないなら誰も手を上げない。そういうシミュレーションを出していただけるのか。

木田鳥羽市長

お願いは出来ると思うが、そういう研究をされるのかどうか私では断定できない。話をきいたところでは、確かにお客さんが減って経営が苦しくなった。例えば借金がゼロであれば、今のお客さんの数で人件費を節減すれば、赤字でなくいける見通しもある。しかし来年、再来年までにお客さんがどうなるか研究されていないので、そこまではわからない。資料的なものはお願いしてみるが、もう廃止を決めた会社がそこまで研究して資料を出してくれるかという私の方では約束はできない。

大口志摩市長

重要な問題であるが、まず協議会の立ち上げについて、みなさんに意思をきいてほしい。組織を作るのかどうかの意思表示を確認し、それから議論すべきだと思う。

中川県議会議員

24日の鳥羽市での対策本部設置を受けて本日の協議会設置となったのか。

事務局長

対策本部は市内部の組織であり、その中では第一弾として市長から県知事に要望した。

知事からは「地域のみなさんが一丸となるよう広域で動いて欲しい」という意見があり、鳥羽市だけでは解決できない問題でもあることからみなさんをお願いさせていただいている。

それでは協議会を立ち上げることについて、ご意見を願います。

伊勢市長（代理 中井参事）

昨日までに市長に確認した段階では、こういう組織を設置していただいて、共に前向きに検討していくということである。

事務局長

南伊勢町さんどうか。

南伊勢町長（代理 西本課長）

伊勢市さんと同じ方向性でいきたい。

事務局長

他にご意見はないか。

森志摩市議会議員

各代表の方ばかりで緊急に開くのは難しい。何度か交渉もしないといけないと思うが、もう少し絞った組織にした方がいいのではと思う。先ほど中嶋県議からもあったが、そういうほうがいいと思う。

事務局長

他にないか。

山本県議会議員

話を具体的に進めていくのはこれからであり、吉田会頭の話にもあったが、行政としてこれから何ができるのか、民間の経済団体として存続するために何ができるのか、またどういう支援ができるのかということこれから詰めていって始めてフェリーの方への具体的な話になってくると思うが、「存続を。」と言っているだけではダメであり、そういう議論をするためには、もう少し絞った方がいいのではと思う。

事務局長

他にないか。

長田伊勢市議会議長

先ほどから機動的に動くという話も出ており、日程的に5月末ということになると、それまでに何らかの成果をあげないといけない。明日から4月である。小刻みにフットワークのいい動きをするためにも、またその都度判断をしないとイケないことも多いと思うので、会長1名、副会長1名のところを、会長、副会長4名にした方が動きやすいのではないかと。

大口志摩市長

鳥羽市長と鳥羽市内の代表の方にお願ひし、我々はそれについていく形がベターだと思う。

木田鳥羽市長

今長田議長から言われたことについては、みなさんに来ていただいて全て決めていくのは難しいので、「小回りが利く組織を」というのはありがたいご意見だと思う。大口市長も言われたが、鳥羽市はかなりの部分で責任があると思っているので、腹案としては、会長1名、副会長1名については、鳥羽市のほうでやらせてもらわないと申し訳ないのかなと考えていた。ただ、皆さんのご意見でもう少し副会長を増やしてということであれば、鳥羽市の行政、民間、それから2市1町の行政から副会長ということも考えられると思うので、いい方向で皆さんの方で考えていただきたい。

中村進一県議会議員

今既に事項書7のところまでおりまぜて進んでいるようであるが、要望書の中に愛知県、三重県に要望し、そして国にも要望するという方向にもっていくのであれば、ここで伊勢志摩鳥羽地域のみなさんが一致団結してがんばるという組織体制を作っていただいて、時間もないのでフットワークよく動く体制を確立していくということにした方がいいと思う。鳥羽市だけでぐるぐる回るということを知事も心配したと思うので、そういう方向性をみなさんで確認していただければと思う。

大口志摩市長

立ち上げることについてはみなさんと同じ意見であるので、早速役員を決めていただき、次の意見交換に入ってほしい。

木田鳥羽市長

役員 of 会長副会長をどうして行くかについて今ご意見を頂いており、まずこれから決めていただきたい。

事務局長

副会長について、現在規約では1名となっているが、「若干名」に修正していくということかどうか。

長田伊勢市議会議長

国に対して要望をやっていく以上、広域でやっけないといけないと思う。鳥羽市が責任をもってということではなく、短距離走でやるわけなので広域の首長さんがなっていていただくということが、いいと思うがどうか。

上村南伊勢町議会議長

今伊勢市の議長さんが言われたように私は鳥羽市だけの問題ではなく、南伊勢町でも四十何年間フェリーを利用してきた。各首長さんが副会長になっていただき、一致協力して進めていただけたらどうか。

事務局長

今日は伊勢市長、南伊勢町長は代理出席であるがご意見どうか。

伊勢市長（代理 中井参事）

今日はあくまでお聞きするということであり、即答できないので持ち帰りさせていただきたい。

南伊勢町長（代理 西本課長）

伊勢市と同じである。

長田伊勢市議会議長

出席した以上ある程度ここで判断してほしい。

大口志摩市長

支援となると予算の絡むことなので、行政としては慎重になる。

事務局長

この場で各首長に副会長をお願いすることは難しいと思う。副会長は若干名か、何名以内とするようなかたちでどうか。

木田鳥羽市長

3名という声もあったが、若干名にして、ここで就いていただける会長、副会長を決めて、みなさんのご意見が各首長ということであれば、伊勢市の鈴木市長と南伊勢町の小山町長にあとでお願いするというところでどうか。

（「賛成」の声あり）

事務局長

それでは副会長については、若干名ということで訂正させていただく。
他にないか。

（意見なし）

事務局長

それでは副会長については、若干名に訂正させていただき、「伊勢志摩地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会」をただいまをもって設置させていただく。

続いて、役員を選任をお願いする。まず会長の選任であるが、本規約第5条第2項において、「会長は、協議会員の中から会議において選任する」としているがどうか。

大口志摩市長

会長は鳥羽市長で。

事務局長

鳥羽市長の推選があったが会長は鳥羽市長でいいか。

(拍手)

事務局長

本対策協議会の会長は、鳥羽市長に決定した。

ここからは、会長の鳥羽市長に議長を務めていただくのでよろしく願います。

木田鳥羽市長

それでは、ここからは私が議事進行を務めさせていただきます。

続いて、副会長の選任について、若干名に訂正したが、みなさんのご意見を願います。

大口志摩市長

行政だけでなく、民間の方にも入っていただきたい。特に鳥羽の観光関係については死活問題だと思う。鳥羽市内の経済界の方が入ってもらった方がいい。

木田鳥羽市長

ただいま鳥羽市内の民間団体の中からとのご意見があった。

他にどうか。

吉田鳥羽商工会議所会頭

県議会のみなさんがここに出席しており、県とのパイプというのは必要だと思う。

県議会のみなさんの中から副会長を選んでもらったらどうか。

木田鳥羽市長

県議会のみなさんどうか。

山本県議会議員

我々は副会長だからということではなく、顧問や委員にしてもらえば、いくらでも県へのアプローチはする。副会長は先ほど決まったと思うので、その意見で進めてもらったらどうか。

木田鳥羽市長

今山本県議会議員から副会長も決まったといわれたが、先ほど長田伊勢市議会議長さんから各市町の長という意見があり、大口志摩市長さんから地元の民間の代表という意見があった。そういう状況なので、どうするか詰めていただきたい。

中嶋県議会議員

今会長が説明していただいた案を、規約にあるように会長が指名し、最終的に協議会の同意であるが、確かに大口市長が言われたように予算を伴うこともあろうかと思うので、伊勢市、志摩市、南伊勢町についても今すぐ答えられないと思う。そこは会長預かりにさせていただき、今の意見を踏まえて人選をしていただき、その後同意を書面でとっていただくということも出来るので、そういう形で進めてはどうか。

木田鳥羽市長

規約の中にも会長が指名し、みなさんの同意を得るということになっているので、今中嶋県議会議員からご提案があった方向でいいか。

(「異議なし」の声あり)

中村鳥羽市議会議長

ただし、各市町から必ず1人は出していただくということは縛っていただいたほうがいい。

木田鳥羽市長

指名させていただき、みなさんに諮る。

中村鳥羽市議会議長

必ず同じ立場の人で3人ではなく、ある市町は経済団体で、ある市町は首長でということもあるか。

木田鳥羽市長

それではここで指名するのが難しいので、先ほどのご意見を踏まえて、鳥羽市の民間団体から1人と、伊勢市、志摩市、南伊勢町の首長にお願いします。そしてここにいない方については、預かりとさせていただき、ご返事を頂いてから正式にみなさんの了解を頂くということになると思う。

(「それでいい」の声あり)

木田鳥羽市長

それでは指名する、副会長に鈴木伊勢市長さん、大口志摩市長さん、小山南伊勢町長さん、吉田鳥羽商工会議所会頭さんをお願いしたいと思う。皆さんのご意見をお願いしますがどうか。

(「はい」の声あり)

木田鳥羽市長

それではご異議なしと認め、そのようにさせていただく。

続いて、顧問の委嘱についてお諮りする。顧問については、本規約第7条第2項により、顧問は協議会の同意を得て会長が委嘱するとなっているので、顧問に奥野英輔県議会議員、辻三千宣県議会議員、中川正美県議会議員、中村進一県議会議員、中村勝県議会議員、中嶋年規県議会議員、山本教和県議会議員、藤田正美県議会議員、村林聡県議会議員の9名を委嘱したいと思うが、異議ないか。

(「異議なし」の声あり)

木田鳥羽市長

それでは本協議会顧問として、奥野英輔県議会議員、辻三千宣県議会議員、中川正美県議会議員、中村進一県議会議員、中村勝県議会議員、中嶋年規県議会議員、山本教和県議会議員、藤田正美県議会議員、村林聡県議会議員の9名を委嘱する。顧問の皆様におかれては、今後国・県への働きかけのアドバイスなどをよろしく

願います。

続いて、事項書6の意見交換に入る。今回はまず第1回目であるので、廃止となった場合の各産業界における影響や、ご意見などをいただきたいと思う。特に関わられている産業等の影響でなくても、各市町、または伊勢志摩地域全体にかかるご意見でもいいので願います。

仲野鳥羽観光協会会長

伊勢湾フェリーを利用されるお客様は静岡方面、関東方面からの方が多く、唯一の海上アクセスルートとして伊勢、鳥羽、志摩、南伊勢へ観光する海の玄関口であることから、減ったといっても30万人以上のお客様がご利用いただいている。ぜひみんなでこのルートを確保していただきたいと思う。

吉田鳥羽商工会議所会頭

伊勢志摩観光でも非常に打撃が大きいですが、伊良湖を抱える田原市のほうがもっと影響が大きいと思う。この協議会と田原の連携をしっかりと、取り組んでいく必要があると思う。その点をぜひ会長に願います。

木田鳥羽市長

昨日も田原市長さんがお見えになり、合同で伊勢湾フェリーの社長に会い、話をしている。これから田原市側も協議会が立ち上がると思うので、三重県、愛知県、国に対して、連携してやっていきたいと思っているのでよろしく願います。

中村鳥羽市議会議長

鳥羽市議会としても田原市議会と随分交流があり、今回の件でも連絡を取り合っている。こういう協議会になると一丸となっていくことは重要なことであるが、それぞれの団体が個々にできることが遅れてしまうといけないので、それぞれの団体のフットワークのよさというか、そういう部分はここに諮ることなく、タイムリーに平行して進めて行って欲しい。

向原志摩市自治会連合会長

三重県の場合は幹線道路が2本しかない。これ以上道路が混雑すると鳥羽志摩の方へは来なくなるので、フェリーは残して欲しい。

木田鳥羽市長

確かに最近伊勢西インターなどで降りられない車が並んで渋滞している。あそこで時間をとられて、おかげ横丁で時間を取られると鳥羽志摩へは来てくれないという懸念も確かにあるので、おっしゃるとおりだと思う。

鳥羽旅館組合連絡協議会会長（代理 小見山専務理事）

今のところ9月末で廃止となっており、5月末という話もあったが、方向性を見出すためにも早期に具体的な対策並びにワーキンググループをスタートしないと、どこがどう議論をしていくのかということもあるので、早急に前進してほしい。

木田鳥羽市長

その方法について、私たちに一任していただくのか、「こういう方法で」と提案いただくのか、具体的なご意見があれば、今の提案に意見いただきたい。

中嶋県議会議員

基本的にはお任せしたい。その中でお願いしたいのは、我々も傍聴者ではないので、ワーキングで決められたことなどを我々に投げかけていただき、意見をいつまでもほしいということをファックスやメールで投げかけていただき、少しでもやり取りをしてほしい。常にワーキング事務局から情報発信、情報共有をして欲しい。

それから資料の宇高航路の経緯を見ると、運輸局が動いたということが大きいので、当面は田原の協議会の動きを待って、中部運輸局で協議会を立ち上げていただくことを第一目標にしてもらえばと思う。そこに県の行政をどうからめていくかというのが会長の手腕だと思う。当面のステップとしては第一に中部運輸局に愛知県と三重県の地域の両団体が求めていくことが大事だと思う。

木田鳥羽市長

今のご意見に向かって努力していきたい。それから 5 月末というのは別に決まっている話ではなく、非常に難しい話であり、普天間より難しいと思う。そういうことにとらわれず一生懸命努力していきたい。

森鳥羽志摩農業協同組合代表理事理事長

非常に時間がない中で、利用者に対する盛り上げは必要ないか。例えば署名運動など地域住民や利用者のご意見を吸収した方がいいと思うがどうか。

木田鳥羽市長

今住民の方の署名運動などが必要ではないかという意見があったがどうか。

傍島鳥羽市自治会連合会長

自治会連合会として、三重県全体の話として活動していかないといけない。署名運動などはやりたいと考えている。

航路が廃止されると連鎖反応でそれを利用して商売をしている方が廃業になることもあるので、真剣に考えたい。

木田鳥羽市長

他にどうか。

西尾志摩市商工会副会長

年に何回かフェリーを利用するが、残すための運動はありがたい。自分が社長だったら、やはり採算ベースに乗せることが重要であり、どういう手法にもっていくかを考える。地域で船を使った観光誘致等の観光戦略をアピールし、国への要望などと同時進行で進める必要があると思う。総合的に計画を立てていく必要がある。

鳥羽磯部漁業協同組合代表理事組合長（代理 森田課長）

利用している者の立場として、私は水産の方の関係者であるが、仲買人さんが関東方面へ出荷しており、16 時 30 分、17 時 30 分で送っている。フェリーが廃止になると高速道路を利用することになるが、渋滞などにより到着時間の予測がつかない。そうなる则ち鮮魚活魚等のクレーム、返品が生じる。利用者の意見も聞いた上で存続に対する取り組みをしていっていただきたい。

中村勝県議会議員

今、事項書の6番と7番を合わせて意見を言っていたいているようなので、そういう意味で私も言わせていただく。

住民、地域の力をどれほど評価するかが大きなポイントだと思う。そのために決起集会をしたり、署名をしたり、決議をしたりということもあると思う。

もう一点は宇高航路の関係で四国フェリーと国道フェリーが廃止撤回し、運航しているが、たぶん全日本海員組合の関係組織でセイフティネットの会社があるそうであり、そこが受け皿になっているようである。その辺の確認も含めて、今回の伊勢湾フェリーの関係でも海員組合の方から情報提供を受けているので、事務局と連携していただきたい。私も連携をとる。

森志摩市議会議長

会長から冒頭のあいさつの中でも伊勢湾フェリーが廃止を決意し、存続の中でも「別のかたち」という言葉があった。伊勢湾フェリー以外の会社になるという話なのか。廃止を決意している中で、厳しい決意をしたと思う。「違う形になるかもしれない」というのはどういうことか。

木田鳥羽市長

先ほども言ったが、伊勢湾フェリーさんは廃止を決定した。私たちがどういう運動をしようとして廃止に向けた手続きを粛々と進めると言っている。この会が出来て、県、国に働きかけてどういう状況になってくるか、まだ私たちはわからない状況であるが、その中で伊勢湾フェリーが「これならもう一回考え直そうか」という状況が作り出せるかどうかに係っている。

森志摩市議会議長

伊勢湾フェリーの方はそういう協議会を立ち上げた結果、いい方向が出たらまた考えると言っているのか。

木田鳥羽市長

そういう話はまったくない。はっきりしていることは、伊勢湾フェリーさんは廃止と決めた。それに対して、この地区の住民も含め、存続して欲しいと動き、それに対し、県や、国や、市等の行政、あるいは民間で何が出来るかということによって、その状況が変わり、伊勢湾フェリーさんが考え方を変えるのか、「それなら私がやりましょう」というところが現れるのか。その辺は私には全然わかっていない。どういう状況が作り出せるのかにかかっている。

中村勝県議会議員

私も社長にお会いしたが、伊勢湾フェリーの会社としては廃止ということで今市長が言われたとおりであるが、廃止はやむなくするわけであり、株主である名鉄さん、近鉄さんが半分ずつ出資しており、ここが強く廃止を迫ってきて廃止に至ったと聞いている。伊勢湾フェリーから株主に対して「なんとかしてくれ」というのは無理だときいている。「ただ、行政がそれぞれの株主に存続について意見を言っていたとどうなるかは・・・」という含みがあったので、一度は行政から株主へ要請はされた方がいいのではないかと思う。

木田鳥羽市長

そういう面についても検討したい。

木村志摩市観光協会会長

志摩地区はスペイン村や合歓の郷など、フェリーを利用した滞在型のお客さんが非常に多い。スペイン村に関しては近鉄さんなので、中村県議が言われたようにその辺で近鉄さんには何らかの声をかけて欲しい。

長田伊勢市議会議長

昨年宇治橋の渡り初め式があり、ご存知のように平成 25 年にご遷宮があり、それまでの 4 年間は大きなうねりがやってくる 4 年間となる。伊勢志摩地域にとっては 20 年に一度の元気が出る大事な 4 年間である。暗い話しかないが、一つのうねりが必ずやってくるわけで、明るい要素もアピールに加えていただき、新しい展開になったり、新しい企業が手を上げていただくことになった時、ぜひそういう方向も持っていたいただきたい。

森鳥羽志摩農業協同組合代表理事理事長

何年か前に伊勢湾の橋の話があったが、あの話はどうなったのか。

木田鳥羽市長

伊勢湾口道路の期成同盟会というのがあり活動はしているが、フェリーと同じく伊勢湾岸道路が出来たり、高速道路が出来たり、その料金が安くなるということは、当然伊勢湾大橋の値打ちが下がっていくということもいえるし、公共事業の抑制がされる中で、動きはなくなっていないが非常に厳しい状況である。

中村鳥羽市議会議長

宇高航路の存続が一縷の望みのようにみなさん思っていると思うが、そこの決定的な違いは、「廃止を決めている」ということなのか、同じ状況だと思っていいいのか。

事務局長

宇高の関係は、本社は廃止し、子会社で存続したと聞いている。現段階では国の支援ではなく、企業努力で存続しているときいている。

木田鳥羽市長

収入が減って赤字になって廃止というかたちは一緒だと思う。しかしその後どうすればやれるという見通しが立ったということだと思う。具体的にはわからないが、債務や人件費などいろいろあったと思うが、そういう状況で廃止になったということについては一緒だと思う。

森志摩市議会議長

私は浜島出身であるが、規模は違うが十数年前に廃止の問題があり、やむをえなかったが、便数が減ってもぜひ存続はして欲しいと思う。

西尾志摩市商工会議所副会長

たとえば、国の戦略でビジットジャパンとして外国人の誘致をしているが、中空にお客が来てフェリーで伊勢志摩に来て、それから田原に行くという伊勢湾トライアングルのような形で観光戦略を提案し、船が必要だという仕掛けをするのも面白いのではと思うが。

木田鳥羽市長

参考にさせていただくが、中部国際空港へのフェリーというのも廃止しており、それが今回の伊勢湾フェリーさんへ大きな打撃を与えたということも事実である。参考にさせていただく。

山本県議会議員

今の西尾さんの考えについてであるが、海上交通は非常に難しい。津はがんばっているが、四日市、松阪が撤退し、伊勢はご承知のとおりで、鳥羽は最初に撤退した。こういう状況である。地域でも盛り上げるのはそのとおりであるが、地域の人がどれだけ乗っているか、高速の片方は1,000円ということであり、現実の認識も大事である。フェリー運賃の件もあり、現実を直視して存続というだけでなく、別の観点から考えていく必要もある。

森志摩市議会議長

宇高航路の運航に当たって、船会社の独自の経営努力だけでやっていける状態なのか、本音のところではいろいろな要請を含めて背景はどうか。

事務局長

報道発表等されている情報しかなく、国からの財政支援は、今のところはないと思う。

木田鳥羽市長

頂いたご意見を参考に進んで行きたい。署名運動という話もあったが、みなさんどう感じているか。

中村進一県議会議員

伊勢湾フェリーの問題がどれだけ地域の皆さん方の生活に密着しているかどうかが問題だと思う。三重県の観光戦略の中で、高速道路の無料化に向け、どうやってそのお客を伊勢志摩へ連れてくるかという戦略を考えているところでもあり、伊勢の人たちが伊勢湾フェリーを存続することによって地域がどう活性化するかということも説明しないといけない。伊勢志摩地域が一体となって活性していくということも知らしめていかないといけない。陸上も大事だが、海上がうまく行くことによってこういう人たちの仕事が増えるとか、志摩市の方にもっと来ていただくコースを作るとか、そんなことをもっと皆さんから頂いて、そのことを地域全体のものに持って来るようにして、その上で署名活動をしたらいいと思う。

木田鳥羽市長

先ほどから頂いているが、今後の活動についてということも含めてどうか。

仲野鳥羽市観光協会会長

広域の各代表者が集まっていたいただいており、フェリーが必要だとアピールすることは大事だと思うが、改めて署名を集める必要はないと思う。

木田鳥羽市長

他にないか。

今後の活動も含めて事務局のほうから何かあれば。

事務局長

これから県・国に対しいろいろ働きかけをしていく必要があると思う。要望書案を作成し、皆さんに書面で内容を確認していただきたい。

要望書の提出については、会長をはじめ、役員の方々が東三河地区との連携の中で国土交通大臣に出す方向で検討していきたい。

次の会議についてはこちらから連絡をさせていただくので、出席をよろしく願います。

木田鳥羽市長

事務局の提案についてどうか。

中村勝県議会議員

署名について、「いらない」という意見と、「必要」という意見があった。また事務局から国土交通大臣に要望書をとという提案があったが、重いがその時に署名を持っていった方がいいと思う。当然その場合は愛知県の田原市といっしょに行くということになると思うので、時間もないが双方で署名を持っていった方がいい。

中村鳥羽市議会議員

私も重ければ重いほどいいとよく聞くので、可能性としては残して欲しい。それから署名の文面について、伊良湖航路の存続なのか、伊勢湾フェリーの存続なのか、署名の文面についても違ってくると思うので、慎重にお願いしたい。

木田鳥羽市長

署名に関しては色々ご意見もあろうし、国土交通省へいつ行くかで時間的な制約もあるので、これについては、会長、副会長へお任せいただき、少し議論したい。

伊勢湾フェリーか、伊良湖航路か、については、先ほども言ったが、伊勢湾フェリーさんがこのまま続けてやってくれるのは結構な話であるが、それがダメな場合は、他の会社ということになる。私たちは「伊勢志摩地域鳥羽伊良湖航路存続対策協議会」ということなので、「鳥羽伊良湖航路存続」というかたちがみなさんのご意思だと思うので、その方向ですすむということでもいいか。

(「はい」の声あり)

木田鳥羽市長

他にどうか。

(なし)

木田鳥羽市長

それでは、本日皆さんにいただいたご意見に基づき、しっかり対応していきたいと思う。

本日欠席の副会長については、私の方からみなさんのご意思ということで伝え、ご承諾をいただきたい。

みなさんとともに進んでいきたいので、今後ともご協力をよろしく願います。